

74—87, 1988.

- 8) 濱田仁, 坂東忠司, 石田政弘, 斉藤真弘: 光合成藻類の有性生殖に対する熱中性子と γ 線の影響とDNAの放射線損傷, 京大原子炉実験所共同利用研究報告, 昭和62年度上半期.
- 9) 濱田仁, 坂東忠司, 石田政弘, 斉藤真弘: 光合成藻類の有性生殖に対する熱中性子と γ 線の影響とDNAの放射線損傷, 京大原子炉実験所共同利用研究報告, 昭和62年度下半期.
- 10) 保健医学, 公衆衛生学教室: 第63年度社会医学実習報告書, 第9集, 1988.

公 衆 衛 生 学

教 授	加 須 屋	実
助 教 授	寺 西	秀 豊
助 手	青 島	恵 子
助 手	加 藤	輝 隆
文部事務官	山 本	雅 子

◆ 著 書

- 1) 荒川 良, 上村 清, 五十嵐隆夫, 寺西秀豊: 昆虫・ダニアレルギー症対策に関する基礎的研究—特に畳内に生息するダニ相について—, 「家屋害虫」日本家屋害虫学会編, 325—334, 井上書院, 東京, 1988.
- 2) 斎藤 寛, 青島恵子: 重金属と人体II—重金属の人体影響—, 「重金属と生物」茅野充男, 斎藤寛編, 167—211, 博友社, 東京, 1988.

◆ 原 著

- 1) Teranishi H., Kasuya M. and Ikarashi T.: Pollen allergy due to artificial pollination of Japanese pear. 富山県農村医学研究会誌 19: 114—123, 1988.
- 2) 寺西秀豊, 五十嵐隆夫: ナシ栽培従事者にみられた職業性ナシ花粉症の2症例. 治療学 21: 139—141, 1988.
- 3) Teranishi H., Kasuya M., Yoshida M. and Ikarashi T.: Pollen allergy due to artificial pollination of Japanese pear: an occupational hazard. J. Soc. Occup. Med. 38: 18—22, 1988.
- 4) 加須屋実, 青島恵子, 岩田孝吉, 加藤輝隆, 寺西秀豊: 富山県神通川カドミウム汚染地住民に発生する尿細管障害の有病率ならびに性差. 環境保健レポートNo54: 169—170, 1988.
- 5) 加須屋実, 青島恵子, 岩田孝吉, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 萩野 昇: 富山県神通川流域カドミウム

環境汚染地住民の尿細管障害と骨代謝異常. 環境保健レポートNo54: 171—172, 1988.

- 6) 加須屋実, 青島恵子, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 萩野 昇: 骨改変層部より左大腿骨折をきたしたイタイイタイ病の1症例. 環境保健レポートNo54: 176—179, 1988.
- 7) Miyahara T., Yamada H., Takeuchi M., Kozuka H., Katoh T. and Sudo H.: Inhibitory effects of cadmium on *in vitro* calcification of a clonal osteogenic cell, MC3T3-E1. Toxicol. Appl. Pharmacol. 96: 52—59, 1988.
- 8) 青島恵子, 岩田孝吉, 加須屋実: カドミウム環境汚染による健康影響に関する研究 第1報 富山県神通川流域カドミウム汚染地住民の尿細管機能, とくに尿 β_2 -マイクログロブリン値との関連において. 日本衛生学雑誌 43: 853—863, 1988.
- 9) 青島恵子, 岩田孝吉, 加須屋実: カドミウム環境汚染による健康影響に関する研究 第2報 富山県神通川流域カドミウム汚染地住民の血清カルシウム, リン, アルカリホスファターゼ値ならびに骨萎縮度について. 日本衛生学雑誌 43: 864—871, 1988.
- 10) 青島恵子, 加須屋実: カドミウム環境汚染による健康影響に関する研究 第3報 富山県神通川流域カドミウム汚染地住民の血液検査成績ならびに血圧値の検討, とくに尿細管障害の重症度との関連において. 日本衛生学雑誌 43: 949—955, 1988.
- 11) 加藤輝隆, 加須屋実, 鏡森定信, 河野昭一, 狐塚 寛: スギの年輪幅に及ぼす大気汚染の影響評価 (I) —火力発電所の操業と標準化年輪指数の推移—. 大気汚染学会誌 23: 311—319, 1988.
- 12) 加藤輝隆, 加須屋実, 鏡森定信, 河野昭一, 狐塚 寛: スギの年輪幅に及ぼす大気汚染の影響評価 (II) —大気中 SO_2 , NO_2 濃度との関連—. 大気汚染学会誌 23: 320—328, 1988.
- 13) Nakano M., Aoshima K., Katoh T., Teranishi H., Kasuya M. and Katoh T.: Severity of tubular brush border damage in cadmium-polluted area (Jinzu river basin): Clinical role of urinary trehalase. Environ. Res. 44: 161—168, 1987.

◆ 総 説

- 1) 加須屋実: 職場でみられる中毒. 中毒医学読本, からだの科学増刊 20: 42—48, 1988.

◆ 学会報告

- 1) 寺西秀豊, 岩田孝吉, 加藤輝隆, 青島恵子, 加

- 須屋実, 大浦栄次, 豊田文一: 山村住民における花粉アレルギーに関する調査研究. 第22回富山県公衆衛生学会, 1988, 3, 富山.
- 2) 青島恵子, 岩田孝吉, 加須屋実: 富山県神通川流域カドミウム汚染地住民における骨代謝異常の性差. 第58回日本衛生学会, 1988, 3, 岡山.
 - 3) 加須屋実, 能川浩二: 先端産業と産業保健. 第61回日本産業衛生学会・シンポジウム, 1988, 4, 金沢.
 - 4) 寺西秀豊: 花粉症研究の最近の進歩. 第61回日本産業衛生学会, 1988, 4, 金沢.
 - 5) 青島恵子, 岩田孝吉, 加須屋実: カドミウム汚染地住民にみられた代謝性アシドーシス (第2報). 第61回日本産業衛生学会, 1988, 4, 金沢.
 - 6) 寺西秀豊, 加須屋実: イギリスにおける出生と児童発育の社会階層差について 第1報 社会文化的背景. 第3回北陸母性衛生学会, 1988, 5, 富山.
 - 7) 寺西秀豊, 加須屋実: イギリスにおける出生と児童発育の社会階層差について 第2報 出生体重と発育パターン. 第3回北陸母性衛生学会, 1988, 5, 富山.
 - 8) 市川広美, 梶 尚志, 横田孝之, 石浜徹義, 猪又雄一, 岡田知佐子, 青島恵子, 加須屋実: 気管支喘息児ならびにその母親の妊娠・授乳中における乳製品摂取状況. 第3回北陸母性衛生学会, 1988, 5, 富山.
 - 9) 加須屋実: 環境保健の課題—金属による汚染を中心として—. 第47回日本公衆衛生学会, 1988, 9, 札幌.
 - 10) 寺西秀豊, 加須屋実: イギリスにおける出生と児童発育の社会階層差について. 第47回日本公衆衛生学会, 1988, 9, 札幌.
 - 11) 寺西秀豊: イギリスにおける職業性アレルギー. 第31回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会, 1988, 10, 富山.
 - 12) 加藤輝隆, 加須屋実, 鏡森定信, 河野昭一: 年輪年代学的手法による過去の大気汚染状況の推定について. 第29回大気汚染学会, 1988, 11, 仙台.
 - 13) 寺西秀豊, 加須屋実: イギリスにおける公衆衛生・卒後教育について. 第16回北陸公衆衛生学会, 1988, 11, 金沢.

◆ その他

- 1) 加藤輝隆, 河野昭一: スギ年輪 (幅) 解析を用いた大気汚染の影響評価. 野田真人編, 「樹木年輪」短期研究会報告書, 82—85, 京都大学原子炉実験所, 1988.

- 2) 寺西秀豊: ロンドン留学を振り返って. 学園だより 第30号: 20, 1988.
- 3) 青島恵子: カドミウム汚染地域住民にみられる尿細管障害の性差に関する研究, 文部省科学研究費重点領域研究「人間環境系」研究広報 No 3, 62年度研究成果報告, 61—63, 1988.
- 4) 加須屋実: カドミウム暴露による尿細管障害の量—反応関係について. 昭和62年度委託研究に関する結果報告, 日本産業衛生学会, 13—41, 1988.
- 5) 加須屋実: 女性の社会進出と拡散する産業保健. 産業医学 30: 169, 1988.
- 6) 加須屋実: ライフサイクルの中における労働. 産業医学ジャーナル 11: 69—70, 1988.
- 7) 寺西秀豊: ダニと住居環境. 北陸と公衆衛生 第28号: 2—3, 1988.
- 8) 寺西秀豊: ロンドン留学メモ. 北陸と公衆衛生 第28号: 32—33, 1988.
- 9) 加藤輝隆, 河野昭一: スギの年輪解析による過去の大気汚染状況の推定. 京都大学原子炉実験所「樹木年輪情報の利用法に関する研究」専門研究会, 1988, 11, 大阪.
- 10) 加藤輝隆: 大気汚染の地域環境への影響. 富山県医師会産業医特別部会研修会, 1988, 11, 富山.
- 11) 保健医学・公衆衛生学教室編: 昭和63年度社会医学実習報告書 第9集, 1988.

法 医 学

教 授	滝 澤 久 夫
講 師	藤 倉 隆
助 手	小 湊 慶 彦
教 務 員	畑 伸 秀

◆ 原 著

- 1) Kominato Y., Harada S., Yamazaki K. and Misawa S.; Estimation of postmortem interval based on the third component of complement (C3) cleavage. J. Forensic Sciences 33: 404—409, 1988.

◆ 症例報告

- 1) 成瀬隆倫, 中村 功, 藤倉 隆, 滝澤久夫, 伊藤祐輔: 笑気 (N₂O) 麻酔事故の一部検例. 日本法医学雑誌 42, 397—402, 1988.

◆ 学会報告

- 1) 中村 功, 藤倉 隆, 滝澤久夫: 全身性キメラについての血液型抗原検索と性別判定. 第72次日本法医学会総会, 1988, 5, 秋田.